



毎月十五日発行
発行所 社会
像大 田島
宗 福岡県宗像市田島
電話 0940-62-1311(代)
http://www.munakata-taisha.or.jp/
定価 一年送料共 1000円

神具・装束 株式会社
結婚式用品 井筒
福岡店 福岡市博多区東公園二二二一 電話 092-281895
電話 福岡 093-651-1945 五六番
本店 京都市下京区油小路六条北入 電話 075-241-0831
電話 京都 075-343-3334 三四一番

木組の家
匠の技
総合建設業株式会社 弘江組
事務所 11106 福岡県宗像市福元一〇二五
電話 0940-311-567

太田宮司退任

後任宮司に神島権宮司就任



太田宮司 退任されて名誉宮司に

去る四月十五日付を以て太田宮司が退任された。

昭和三十七年三月に奉職し、以来実に四十二年に亘り宗像大社に御奉仕され、温厚篤実で職務に忠実、先見性に富み、職員との融和に努められ、神道人としての品位を保持し、神明奉仕に精励された。一昨年御歳六十五と

ならぬ、責任役員会に度々辞意を伝えておられたが、役員会はこのを保留し慰留につとめてきた。今年六十七歳を迎えられた代表役員退任の内規により、本人から強い申し出があり、三月の責任役員会で受理された。

学部の宗教科に入学、昭和三十四年卒業後、同年三月本社本庁調査部に録事として奉職され、昭和三十七年三月、当時の久保宮司から招聘されて、宗像大社へ権禰として赴任された。昭和四十四年から四十八年まで行われた「昭和の大造営」では庶務課長として、故津宮司・養父禰宜に任せ、手腕を発揮された。同五十九年二月禰宜に昇任、同年四月には経理部長に就任し、同六十一年には電算機管

御挨拶

新緑の候、宗像大社御崇敬者の皆様には、愈々御清祥の段費に存じ上げます。

さて、私儀、平成九年十一月以来宗像大社宮司として、神明奉仕に勤めて参りましたが、四月十五日をもちまして退任させて頂くことになりました。去る昭和三十七年三月奉職以来四十年余、大過なく神明奉仕の出来ましたことは、大神様の御加護はもとより皆様方の公私にわたる格別の御支援と御芳情によるものと衷心より厚く御礼申し上げます。尚、名誉宮司の称号を頂きましたので、今後も斯道のため力を尽くし度、一層の御交誼を賜りますようお願い申し上げます。平成十五年五月

宗像大社名誉宮司 太田 可愛

薫風の候、皆様益々御清祥の御事とお慶び申し上げます。今般、太田宮司が御勇退され、不肖私儀その後任に推されて、四月十六日付で宮司に就任致しました。素より浅学非才の身、その責務の重大さに恐懼いたしておりますが、誠心誠意御奉仕いたしまして大方の御期待に応えたいと決意を新たにいたしております。就きましては、何卒倍旧の御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。平成十五年五月

宗像大社宮司 神島 定

権宮司に高向禰宜昇任

神島宮司の昇任に伴ない空席となった権宮司に、高向正秀禰宜が本社本庁辞令(平成十五年五月十五日付)交付により昇任致しました。



権宮司 高向 正秀

高向権宮司は地元宗像の出身、高向家は代々宗像大社の社僧を務めた家柄。累立宗像高校を経て昭和四十八年皇學館大学文学部国史学科を卒業後、同年四月より伊勢の神宮に出仕として奉職、同五十二年に宮掌を拝命し、同年四月一日付で権禰宜として当大社に奉職された。その後昭和六十一年広報課長、平成七年に賽務課長を歴任し、同十四年禰宜に昇任、祭儀部長を経て今度の権宮司昇任となりました。

今後は社務本局長として神島宮司を補佐し、当大社の御神徳の発揚に、その実力を遺憾無く發揮し、貢献されることでしょう。



浜宮祭

五月・浜宮祭齋行



五月祭

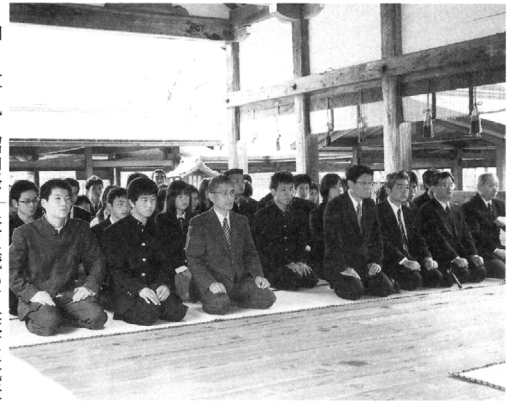
「端午の節句」の五月五日、恒例の五月・浜宮祭が、宗像市江口の五月宮、同市神湊の浜宮で齋行された。午前十時三十分浜宮祭を齋行。「浜宮」には石祠の御社殿の御前に神饌をお供えし、神島宮司以下神職四名が奉仕し、神湊地区の各区長をはじめ地元の方々が多数参列した。その後すぐに「五月宮」に移動。五月宮も神を依代とする神饌祭場でその前庭に神饌をお供えし、午前十一時五月祭を齋行。五月宮は釣川の河口に鎮座し、海からの浜風が心地よい中の祭典となった。祭典後は当大社五月宮で直会が催され、橋の若葉が敷かれた折敷に盛られた赤飯・ナメ煮・輪(なま)・粽(ちまき)を、栗箸でいただきますながら、菖蒲酒を酌み交わし、神人と和

校庭の桜の花も散り新緑まぶしい五月七日、玄海小学校を訪問した。四年前から同校一七六名の全児童挙げて取り組んでいる、菊花栽培の支援活動のためであった。平成十二年十月子供達の「一層の健やかな成長を願い、保護者を始め地域の方々、ゲストティーチャーにより学校を支援することを目的」として、玄海小学校を支援ランティア「匠の会」が発足、校区の様々な職種の人々がその多様な技能を持ちより活動されている。特に菊作りボランティア部会は、土づくりから始める完全栽培法で取り組んでおられるため年間を通して指導の確保、親子・さし穂の確保、観し芽・培養土の配合、消毒液・液肥の調合等子供には出来ない分野もあり大変な苦勞が伴う。が、昨春秋にはこの熱心な姿勢に感動された北九州市の篤志家より多額の浄財も寄せられ、資材倉庫、支柱・輪台等の菊資材も建設、購入し万全の体制となった。宗像大社菊花会は、このボランティア活動の趣旨に賛同し、側面から応援すべく毎年菊鉢・肥料・薬剤等の資材及菊苗の贈呈を行っている。今年も小菊・大菊と二種類の菊花に挑戦することになっており、秋には西日本菊花大会に出品され、神郡の秋に優い色を添えることになる。(H・T)

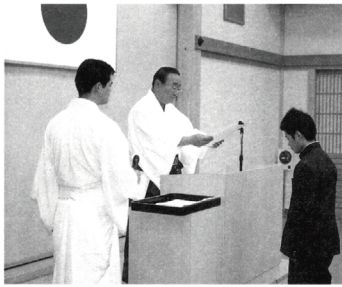


奨学金受給生奉告祭

第四十四期生二十名集う



四月二十九日昭和祭で賑わう御本殿で、平成十五年度宗像大社奨学金・宗像大社荒井奨学金受給生の奉告祭が斎行された。



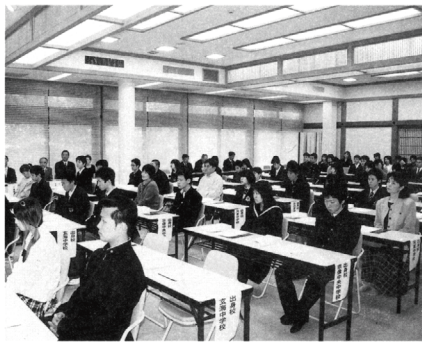
その後担当神職が説明を行い、直会として大社手作りの「かしわ弁当」を一同で頂き、本年度の受給奉告祭を終了した。宗像大社の奨学金制度は、昭和三十四年

当日は本年度受給する宗像市・郡内の中学生卒業した高校生一年、三年生六十人が、保護者とともに御本殿に参集し、午前十一時から「昭和祭」に参列した。昭和祭終了後、拝殿に昇殿し奉告祭を斎行。宗像市郡校長会代表がそれぞれ手渡された。

表に続いて奨学生代表が玉串を捧げ、宗像大神に立派な社会人になるよう勉学に勤むことを誓った。

十一月十一日、今上陛下の御成婚を記念して制定、翌年の昭和三十三年に第一期生として、宗像市・郡内の中学校出身者(当時は六中学校)に支給された。現在は宗像市・郡内十中学校より各校二名づつ毎年二十名に支給し、今春の新受給生二十名で延べ人数は六七五人に上る。

「郷土を愛し、将来の日本を背負う有為な人材の育成」(宗像大社奨学金受給生規約より)の制定の趣旨にそぐった社会人になることを切望します。



また同ページ三段に「奨学金受給生便り」を掲載しております。自らの考えていること、将来のこと、家庭環境等自由に書いてもらいました。また昨年まで

- 吉田 隼 (大島中卒)
- 古野 結実 (大島中卒)
- 井出上 司 (河東中卒)
- 星川 雅俊 (河東中卒)
- 山口 才人 (河東中卒)

- 吉水 太一 (福岡中卒)
- 井関 香 (福岡中卒)
- 有吉 清武 (城山中卒)
- 安永 江里 (宗像中央中卒)
- 吉田 賢隆 (宗像中央中卒)
- 安本 理紗 (日里中卒)
- 池田 千世美 (日里中卒)
- 仲村 慎太郎 (津屋崎中卒)
- 中島 沙依子 (津屋崎中卒)
- 永田 美樹 (自由ヶ丘中卒)
- 池田 哲平 (自由ヶ丘中卒)
- 平岡 恵美香 (福岡東中卒)
- 東 享平 (福岡東中卒)
- 鈴木 綾香 (玄海中卒)
- 廣橋 寛弘 (玄海中卒)



春の交通安全県民運動(五月十一〜二十日)に伴ない、神郡宗像でも五月十二日宗像市三郎丸の旧国道三号線で、

宗像警察署・宗像交通安全協会が街頭キャンペーンを行われた。当日は汗ばむほどの五月晴れに恵まれ、当社から大社からも神職と巫女が出陣し、ドライバーにお守りを配布して安全運転を呼びかけた。今回の重点項目は、一、子供と高齢者の

春の交通安全県民運動(五月十一〜二十日)に伴ない、神郡宗像でも五月十二日宗像市三郎丸の旧国道三号線で、

宗像警察署管内では十一日までに、三三〇件の交通事故が発生、死者三人(八人)、負傷者四八八人(五三三人)といずれも前年同期を下回っている。今後もこの傾向を維持し、交通事故の減少を祈りながら帰社した。

宗像警察署管内では十一日までに、三三〇件の交通事故が発生、死者三人(八人)、負傷者四八八人(五三三人)といずれも前年同期を下回っている。今後もこの傾向を維持し、交通事故の減少を祈りながら帰社した。

春の交通安全キャンペーン

宗像警察署・宗像交通安全協会が街頭キャンペーンを行われた。当日は汗ばむほどの五月晴れに恵まれ、当社から大社からも神職と巫女が出陣し、ドライバーにお守りを配布して安全運転を呼びかけた。今回の重点項目は、一、子供と高齢者の

宗像警察署管内では十一日までに、三三〇件の交通事故が発生、死者三人(八人)、負傷者四八八人(五三三人)といずれも前年同期を下回っている。今後もこの傾向を維持し、交通事故の減少を祈りながら帰社した。

宗像警察署管内では十一日までに、三三〇件の交通事故が発生、死者三人(八人)、負傷者四八八人(五三三人)といずれも前年同期を下回っている。今後もこの傾向を維持し、交通事故の減少を祈りながら帰社した。

宗像警察署管内では十一日までに、三三〇件の交通事故が発生、死者三人(八人)、負傷者四八八人(五三三人)といずれも前年同期を下回っている。今後もこの傾向を維持し、交通事故の減少を祈りながら帰社した。

五月二日、六日の五日間、第二十回宗像大社春季奉納盆栽展が、本殿西側の境内で開催された。

二月二日、六日の五日間、第二十回宗像大社春季奉納盆栽展が、本殿西側の境内で開催された。

二月二日、六日の五日間、第二十回宗像大社春季奉納盆栽展が、本殿西側の境内で開催された。

二月二日、六日の五日間、第二十回宗像大社春季奉納盆栽展が、本殿西側の境内で開催された。

二月二日、六日の五日間、第二十回宗像大社春季奉納盆栽展が、本殿西側の境内で開催された。



五月二日、六日の五日間、第二十回宗像大社春季奉納盆栽展が、本殿西側の境内で開催された。

五月二日、六日の五日間、第二十回宗像大社春季奉納盆栽展が、本殿西側の境内で開催された。

五月二日、六日の五日間、第二十回宗像大社春季奉納盆栽展が、本殿西側の境内で開催された。

五月二日、六日の五日間、第二十回宗像大社春季奉納盆栽展が、本殿西側の境内で開催された。

第二十回 春季奉納盆栽展

で会場が設置され、出来上がる上盆栽を各地区より搬入。丹精込めた五葉松・玄海、黒松・なごの松、盆栽をはじめ、春らしい桜草・ヒメウズキ、

今年、兄は私立大学二回生、姉は大学受験、私は高校入学といういろいろとお金がかかり、少しでも母や祖父の負担を減らせるように、この奨学金制度に応募しました。だから奨学金の使い道は家族の生活費にあてたいです。

私の将来の夢は、中等科の社会科の先生になることです。そのためには日々の努力が大切です。

高校では運動部に所属しており、これから忙しくなると思いますが、学生としての本業である勉学が疎かにならないように頑張っていきたいと思います。

宗像高校一年 仲村 慎太郎 (津屋崎中卒)

博多女子高卒 梅崎 聖生 (津屋崎中卒)

この奨学金をいただいた三年目になり、最後の一年です。この一年間でこの先の事をしっかりと見いださなければいけない時がきました。私は親元から離れて

新人紹介

昨年度から今春にかけて、神職二名、巫女四名が新しく宗像大社の職員として奉職しましたので、ご紹介申し上げます。



坂本 敬
昭和五十年九月二十五日生まれ。二十七歳。今春、東京・明治神宮からこちらの宗像大社に奉職いたしました。坂本敬です。



飯田 明宏
昭和五十三年十月六日生まれ。二十四歳。昨年十一月から宗像大社に奉職しております。飯田明宏と申します。

父も明治神宮に永年奉職していた関係で、東京で生を受けたが、幼少のほとんどの時期を、菊池神社の鎮座される熊本県菊池市で過ごしました。十八歳で神職の道を志して上京し、國學院大學文学部神道学科に進み、「神道」について学びました。

平成十年四月からの三月まで五年間明治神宮に御奉仕し、この四月に宗像大社に奉職させていただきました。歴史と伝統のある宗像の地で奉仕できる事を大変光栄に思っています。



河東 あいこ
昭和五十八年二月二十一日生まれ。二十歳。今春、九州女子短期大学看護教育科を卒業し、この四月から御奉仕させていただきます。河東あいこです。宗像市富地原の出身です。



神野 京子
昭和六十年二月二十八日生まれ。十八歳。三月に折尾愛真高校普通科を卒業し、四月から宗像大社の巫女として奉仕しております。神野京子です。北九州市八幡西区千代ヶ崎から車で通っています。

千葉県香取郡東庄町に鎮座する東大社の社家として生まれました。平成九年四月に國學院大學別科神道専修二類(二年制)に入学、一旦退学し、平成十年四月に國學院大學文学部神道学科(四年制)に入学し直すという経歴をもちます。卒業後は東京都大田区に鎮座する浦田八幡神社に昨年十月まで奉職し、御縁あつて同年十一月宗像大社に参りました。

学生時代は、明治神宮で実習生を一年間し、残りの四年間を明治神宮外苑で宿直生として五年間学校に行きながら仕事をしました。体育会系の社会である外苑で毎日のようにご指導していただいたことにあり、根性だけは誰にも負けません。至らない点多々あるとは思いますが、御指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。



和田 麻紀
昭和五十九年六月八日生まれ。十八歳。三月に折尾愛真高校を卒業し、宗像大社に奉職しました。和田麻紀です。遠賀郡水巻町の出身です。



西山 由香
昭和五十五年七月二十九日生まれ。二十一歳。四月から宗像大社に御奉仕させていただきます。生まれば北九州市小倉ですが、五歳の時に宗像市赤間に引越してまいりました。宗像大社には毎年の秋の放生会にいらいますし、幼少の写真をみると七五三や菊花大会のものがあつて、よく参拝してまいりました。

初詣等で宗像大社には参拝してまいりましたが、その時の清楚な巫女さんの姿に憧れ、奉職を決意しました。今は毎日祭典での浦安舞や豊采舞の温習を受けています。それに「茶道」や「華道」の稽古も出来そうです。日本の女性らしくも磨いていこうと考えています。

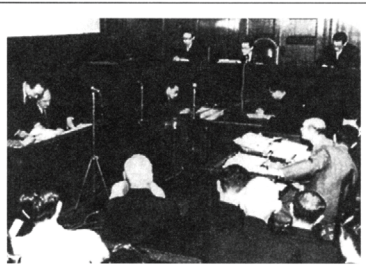
現在は先輩の巫女さんについて、毎日いろいろ教えていただいております。頑張りますのでよろしくお願いたします。

決断力 その時昭和の経営者たちは

出光興産株式会社 出光 佐三 店主

「イラン石油を輸入」③ 瀧口凡夫

「われ俯仰 天地にはじす」
日章丸は一九五三年(昭和二十八年)五月九日、出光興産河崎油槽所に接岸した。船腹はアバタンで積み込んだガソリン、軽油などで満タンだった。日章丸の壮挙はもう、日本国中に知れ渡っていた。報道陣の派手な取材ぶり、来日中のイラン代表団の出迎えなど、神戸出港のときは打って変わった風景だった。



1953年(昭和28年)東京地裁での第一回口頭弁論の様子

そのころ東京・半蔵門の英国大使館では、アングロ・イラン石油のデベッカー代表(弁護士)が記者団を前に、出光のやり方は「盗品故置」として、激しい口調で攻撃していた。同社は六日、日章丸の帰国を前に東京地裁にたいし、積み荷の「処分禁止の仮処分」申請を提出していた。佐三も出光本社で記者たちに囲まれていた。持論の石油政策のあり方、こんどのイラン石油輸入のねらいを説明し、「日章丸は準備が整い、積み取りのため折り返しアバタンに派遣する」と語った。そして、あわただしく東京地裁に向かった。地裁では午後一時から、ア・イはイランと結んだ利権協定、イランの石油国有化法の有効性、などをめぐって激しく対立した。石油が「盗品」かどうかは、それによって決まるからである。討議が尽きかけたとき、デ弁護士が「日章丸はずして川崎港に着き、本件石油を陸揚げしつづける。出光は船を別に移動させるかもしれない。日章丸をそのまま押し返してもらう」と申し出た。柳井弁護士が「出光はそういうことはしない。石油は陸上のタンクに揚げ、そのままに

第五〇二回 宗像大社歌会詠草

大野 展 夫 選 毎月 25 日 〆 切

日(里) 大和美由紀
気球より眺めれば下界 放牧の馬は小さき玩具のごとし
(評) 今迄自分の立つてみた地上を下界と断じさせる気球の高さ、作者の驚きに私達も同化できるパノラマの景色である。
牟田尻 横山 雪子
風走る麦の穂波に見掛け居り丘のぼりし予後の夫は
(評) 夫に寄せる作者の愛情の深さまで見えそうな一首である。吹くのは正に薫風
田野 森 甲子
風強き成田山より見晴るかす大洋洋に白波走る
(評) これは前作二首を上廻る雄大な景色がある。成田不動さんのご利益に与かつた作者がうらやましい。
下界、見掛け、見晴るかすの同意語を使い、それぞれ場の詠い三首共に佳品である。
(評) 一首の中の言葉がそれぞれ均等に働き合つて、折角旅に出ながらもなんとなく生れる不安、はかなさをうまく表している。
福間 池浦千鶴子
咲き満ちし桜の下に青年は大き荷物と列車を待ちをり
(評) 桜と大き荷物を持つ青年、就職のため門出と考えてもいれ、旅行の途中と考え、も、行き、「荷物」との格助詞「と」が、背後にあるのであろう対象を暗示をしてをり、
日(里) 石松 知子
春山に登るといそいでそ支度する夫に真白き軍手を渡す
(評) 真つ白な軍手は登山する夫に対する妻の励ましであり、愛情の象徴でもある。
大井 木原ふさ子
文庫本眼鏡いらずに読む夫と少し離れて眼医者に待ちをり
(評) 視力の弱まつた妻を案じて付いて来て呉れた「主人」である。少し離れてには、そんな主人に対する照れ臭さと、目のいい主人にちよつぱりした妬みがあり、「眼医者」という古くてローカル色ある言葉と共に、ほのぼのとした一首に仕上がった。
神湊 中山 千鶴
まどろみてゐたりし宿の明け近しうすみ色にかすむ山なみ
(評) 一首の中の言葉がそれぞれ均等に働き合つて、折角旅に出ながらもなんとなく生れる不安、はかなさをうまく表している。
福間 香月 照子
大正のロマン想はせべに花虚美人草は風にゆれをり
朝野 藤井 浩子
静寂の中に野鳥の声
ひびくはずれの苔寺写経の音のみ
池田 森 龍子
待ち侘びてゐたりしごとく雨去りし木々は雲を弾きて芽吹く
津屋崎 佐々木和彦
散りし木をさくら花びら遠ざかる風に路面を吹かれ吹かれて
曲 天野 玲子
秋のさくら愛せし母なりき母の慰みし茶店に坐る
吉留 高山 信子
病室に娘の活けくれし土佐みづき香りのよしと院長も笑む
日(里) 石松 弘次
書に倦みて蒲団に潜れば欠伸出で禿頭摩り眠りに入りぬ
鐘崎 安永 久子
警報のひびくイラクに甦る母と防空壕に潜みいしこと
池田 小田 イセ
母の背の温もり知りて子は首ちわはれいつしか養れをり
光岡 河村 久光
戦後子と建国記念日を語りつつ終戦前の紀元節を言う
日(里) 佐藤 純一
王丸の水祇このまねことしては加護のお水は閉ざされるなり

宗像大社歌会
俳句作品集四七七

光岡 井上 嘉治
菖蒲湯に浸して傷の
軽さかな

けもの道鬼百合一輪
夏来る

満開の花にみそらの
青見えす

会食の春や波頭のさ
さやけり

五月雨を享けてつづ
じの尚赤し

年金の書類むつかし
老いの春

東郷 田中 憲象
こぼれ土あれば石に
も草草

福岡 森 清
夏近し雲雀耕土に鳴
く夕べ

東郷 吉武 湧泉
貧の戸に過ぎし難を
飾りけり

東郷 吉田 杏子
遠き祖のありて吾あ
り木々芽ぐむ

東郷 田中 雨葉
平成の蔵開かれて古
難

東郷 木原 房子
川土手も土筆つむ子
も陽炎へり



(続)

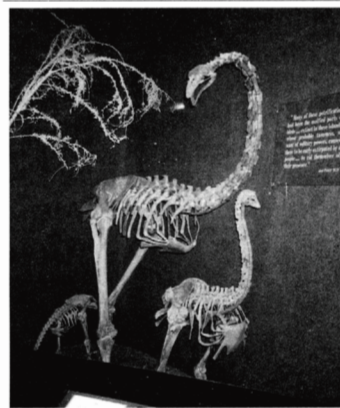
決の寄物

176

いしい ただし

クライストチャーチに
着いて、荷物をホテル
に運び、カンタベリー
博物館へ行った。
旅行でその地の文化
や歴史を知るには、博
物館に限る。博物館の
建物は一八七〇年に建
てられたもので、石造
りの重庄なものである。
しかも南半球屈指の収
蔵と言われる。
NZでは入場料はな
く寄付制である。
入ると巨鳥モアの骨
格標本や卵が展示され
ている。その奥にはマ
リオ文化の展示が見え
る。

渦巻きの彫刻が並んで
いるのが見えた。
モアはタチオウ科に
属するが、モアの名は
ニワトリをさすポリ
ネシア語で、このモア
はニュージーランドへ
は持ち込まれず、はじ
めて見た大きな鳥に同
じ言葉が与えられた。
モアは二種、小型の
セニアと大型のモア
から三メートルの高さ
のモアまで二種いた
り、モアに近い飛
べない鳥キウイは国
鳥として保護されてい
る。



この飛べない巨鳥モ
アは地上の楽園を謳歌
していたが約一〇〇〇
年前に、NZに渡って
きた東ポリネシア系集
団によって狩捕され、
絶滅へと追い込まれて
いく。いわゆるモアハ
ンター達は、モアを追
って移動しながら、五
〇〇年ほど前に大型種
は絶滅した。モアハン
ター達は、落し穴、罠
網等で捕獲したが、特
に罠仕掛が主であった
という。当時巨大な卵
も食べられ、殻は容器
として利用された。繁
殖の道も途絶えた。
モアハンターの遺跡
はNZの各地で見られ
ているが、多くの遺
跡が一九世紀にはじま
るヨーロッパ人の入植
で破壊されたそうであ
る。

「ある場所からは荷
車の何台もの量の骨が
見つかり、粉砕所に運
ばれた。このような大
量の骨が土中に埋まっ
ていた場所では、初期
のヨーロッパ人が土地
を耕す際に困難があっ
た。」からである。
多くのモアハンター
の遺跡が開拓期に破壊
されたが、現在ではモ
アの骨を発見した場合
カンタベリー博物館で
は次のように市民に呼
びかけている。「カン

タベリー地方でモアの
骨を発見したら、この
カンタベリー博物館の
考古学者に知らせて欲
しい。考古学者はすぐ
その場所に行き、調査
を開始するであろう。
そのほかの地域でもモ
アの骨を発見したら、
近くの博物館に連絡し
て欲しい。その際に一
番大切なことは、専門
家が着くまで遺物を動
かさなないこと。これ
を「フーモア、カンタ
ベリー博物館日本人む
けの解説書」骨の出土
保存の情報を得ようと
していることが分かる
し、開拓期に遺跡が多
く破壊されてしまい、
情報が少ないからであ
る。

話題の新車紹介 ③③

マツダ「RX-8」

四月九日に正式発表
された「RX-8」が、

ついに五月十一日
の土日に、全国のマツ
ダ販売店

で、発売
開始にな
りました。

「RX-
8」は
四ドアで家族でも乗
れる、ロータリーを
楽しむと考えると、
「RX-8」は

「RX-8」
の魅力を
紹介します。

「RX-8」
の魅力を
紹介します。

「RX-8」
の魅力を
紹介します。

「RX-8」
の魅力を
紹介します。

「RX-8」
の魅力を
紹介します。



「RX-8」は、
四ドアで家族でも乗
れる、ロータリーを
楽しむと考えると、
「RX-8」は
「RX-8」の
魅力を紹介します。

「RX-8」の
魅力を紹介します。

「RX-8」の
魅力を紹介します。

「RX-8」の
魅力を紹介します。

「RX-8」の
魅力を紹介します。

「RX-8」の
魅力を紹介します。



「RX-8」の
魅力を紹介します。

「RX-8」の
魅力を紹介します。

「RX-8」の
魅力を紹介します。

「RX-8」の
魅力を紹介します。

「RX-8」の
魅力を紹介します。

「RX-8」の
魅力を紹介します。

神郡宗像
末社めぐり

三十一土六若宮
(八幡神社)

宗像大社から東南方
向に約五キロ、最近大
型商業施設が立ち並び
賑わいをみせている。く
りえいと宗像に隣接
する、宗像市土六字西
浦の小高い丘に、平成
十二年に改築された一
間社流造、銅版葺の本
殿が鎮座している。

御祭神は応神天皇・
仁徳天皇・神功皇后・
平景清、御縁起に百八
社の一として「土六
若宮」と見え、正平年
中行事や吉野期神事目
録、延寶末社帳にも表
記がある。

續風土記附録、宗像
郡下土六村の條に、「目
明八幡社、村の西三町
計、林中にあり。産神
なり。田島宮の社記に
は若宮とあり」とあり、
同拾遺十八には、土
六村小字西浦といふと
ころにある八幡宮をも
つてこれに充て、「宗
像末社記に御船上社
又縁起に土六若宮とあ
るは此御社也」とある。
明細帳には、「赤間町
大字土六字西浦、現在
の宗像市土六、鎮座の
八幡神社(舊村社)を
この社とする。」とさ
れている。

境内にある石製の由
緒板には、「往古より
八幡宮と称し、悪七兵
衛景清、日向の国に配
流せられし時、此地に
着船し、眼病に罹り、
當社に祈願せしに其功
あり。景清自ら十一面

観音を彫刻し、當地に
船頭寺を建立し、當八
幡宮の本地とす。後船
頭寺は廃寺せし。かば、
其本地仏のみ今に存す。
當社は俗に生目八幡と
稱す。又、古御船上社
と稱し、此地までは入
江なりしよし。」と表
記されている。

例祭日は現在十月十
四日、夏祭りは七月十
日。特にこの神社の御
神殿には、寛延二年七
月から眼光爛々たる赤
らか「生目八幡神社」
と呼ばれているが、眼
病に靈驗あり社とい
うことで、「目明八幡
神社」と呼ばれた往時
頃からであろうか。
境内は近年整備され、
氏子の方々により清掃
もされており、美しい
御神域が保たれていて
、祭典も地域挙げて盛
大裡に行われている古
社である。

「今この病
氣を鎮めん
とするなら
ば、我が神
像を歌舞し
て祭り、四
方に遊行せ
しめよ。か
の鬼共猛り
勇むとも、
我がよく征
服するであ
らう」との
神託にて、
獅子頭を奉
持して神遊

獅子頭を奉
持して神遊

獅子頭を奉
持して神遊

獅子頭を奉
持して神遊

獅子頭を奉
持して神遊

獅子頭を奉
持して神遊

獅子頭を奉
持して神遊

獅子頭を奉
持して神遊

獅子頭を奉
持して神遊



「今この病
氣を鎮めん
とするなら
ば、我が神
像を歌舞し
て祭り、四
方に遊行せ
しめよ。か
の鬼共猛り
勇むとも、
我がよく征
服するであ
らう」との
神託にて、
獅子頭を奉
持して神遊

